

2月7日は町議会議員選挙

きれいな せんきよ

そらは はれてる すんでいる

あの そらのよう けがれない

あかるい せんきよで

よいひと えらび

しあわせのまち つくろうよ

広 報

おおづまち

大津町議会議員一般選挙

明るく正しい選挙でのぞみましょう

昭和四十四年二月二十八日任期満了による大津町議会議員一般選挙が次のとおり行なわれます。

今回の選挙は我々町民にとつて、もつとも関心の深い選挙でありますので大津町発展のため、安心して町政をおまかせできる立派な人を代表者として選ぶなければなりません。買収供応義理人情にとられる事なく自分の本心に信頼出来る人に投票しましょう。

選挙には有権者各位の自覚によつて一人の違反者も出さないように、立派な人を選び、明るく正しい選挙が出来ますよう御協力御願ひ致します。

私たちが有権者は左の原則を守りましょう

- 一、投票を売つたり買つたりしません
- 二、飲み食い・たき出しはしません
- 三、陣中見舞・戸別訪問はしません
- 四、部落の見張りなどはしません
- 五、違反はきびしく取締つてもらいます

誰れが誰れに投票したか絶対に他人にはわかりません。私たちの代表者にふさわしい清潔な人を選びます。

一、定 員 二十名

二、告 示 一月三十一日

告示と同時に立候補者届出受付開始

毎日午前八時三十分より午後五時まで

大津町役場会議室

三、立候補者届出及び辞退届出期日 二月三日午後五

時まで

四、投票日 二月七日午前七時より午後六時まで大

津町二十箇所の投票所で行なわれます

五、開 票 二月七日午後七時三十分より大津小学

校講堂にて行なわれます。

大津町選挙管理委員会委員長 大田黒春成

大津町明るく正しい選挙推進協議会長 赤星 正

よかつたと 心に残る この選挙

新熊本空港設置に伴う農業開発事業

地元の要望まとめ

かねてより関係地域住民の農業開発並びに地域開発計画を検討して参りましたが、積極的に事業を推進するため一月十日大津町高遊原農業開発促進協議会を結成し地元住民の要望を審議し次の通り要望事項を界に提出陳情いたしました。

- 一、岩倉谷地の農業開発
 - (1) 塚高地下水の探査
 - (2) 地下水に頼る事が不可能な時は追井手の余水を揚水使用する
 - (3) (2)に頼る事が出来ない時は台地に溜池を作り冬期満水して夏期使用を計画する
- 二、県岩畑かん事業に対する要望
 - 一、周辺道路を整備すること
 - (1) 岩坂地内の農道の改修
 - (2) 黒道の改修整備
 - ④ 溜田ノ熊本線
 - ⑤ 内牧ノ熊本線
 - ⑥ 錦野ノ溜田線
 - 四、鳥子川護岸の補設及び鳥子橋の架番
 - (1) 白川護岸の嵩上げ
 - (2) 白川護岸の新設
 - 五、代替地の騎戻と植茶田地及製茶工場
 - 六、滑走路延長予定及び低空滑走路の代替地要求
 - 七、転換作目に対する長期資金の確保
 - 八、錦野大谷ダムの設置

完納にご協力を

国民健康保険税

四十二年度の国民健康保険税も第五期分を終了いたしました。

保険税の納入については、皆様のご理解と努力により年々成績も向上しておりますが、満足できるまでには到達しておりません。年々の諸物価の値上りが反映して、医療費の増嵩も例外ではなく、保険運営も税金の完納なしでは一通りの苦勞ではありません。当時の保険税の課税状況は菊郡下でも一日当り、一人当りの平均は

最下位であり、税の滞納状況は郡下で最高という有難くない現状であります。

2月27日	午前	外 錦島岩瀬大吹	内 森
	午後	野川 坂田 林田	野川 木 水 林 中 所 中 又
2月26日	午前	野川 坂田 林田	野川 木 水 林 中 所 中 又
	午後	野川 坂田 林田	野川 木 水 林 中 所 中 又
2月25日	午前	野川 坂田 林田	野川 木 水 林 中 所 中 又
	午後	野川 坂田 林田	野川 木 水 林 中 所 中 又

二等陸海空士の募集

募集期間 昭和四十四年一月四日から
三月末日まで

試験期日 毎月十日及び二十日午前八時三十分から午後五時まで
試験場 自衛隊北熊本駐とん部隊
地方連絡部
菊池保健所大津支所ほか
詳細については総務課庶務係にお尋ね下さい。

今月の歩こう会

二月十六日午前八時半 日吉神社集合
日吉神社より水迫ノ源場ノ古閑原一〇K

熊本動物博

四月一日〜六月一日まで
前売券は町経済課でとらぞ

水辺動物園完成記念、熊本動物大博覧会が画図湖畔で開催されます。
前売券 一六〇円(前)二〇〇円(中) 教育、観光、ご家族づれのレクレーションにどうぞ

鳥子川区民総出の兜祭り

親睦の目的を充分に果たす

一月二日午前七時鳥子川区民恒例の兜祭りが行われた。
総勢三千数名。折からの吹雪を物ともせず、往性を蹴つて岩坂山を登り、山又山を声を限りに行りまくった。
七つの山を征服し獲物には恵れなかつたが、婦人会心づしの温かい雑炊が用意され和やかな雰囲気、時に経つのも忘れて区民の親睦が夕刻まで続いた。



善意

香典返し

老万円也 日吉町 今村 勇殿
老万円也 亡父今村喜市殿
五千円也 森 吉岡 正直殿
老万円也 松岡 林太 太郎殿
老万円也 矢妻橋本ムメ殿
老万円也 亡妻川片又 村山進殿
老万円也 亡母川山キツコ殿
老万円也 水原町 合志 正男殿
老万円也 亡母合志ツエ殿
老万円也 杉水 桐原 政雄殿
五千円也 松久男 桐原政明殿
老万円也 亡祖父渡辺恒喜殿
老万円也 兵庫県明石市 臼杵 信清殿
五千円也 亡妻白杵富美子殿
老万円也 室五丁目高村とよめ殿
老万円也 灰塚 前田 建殿
老万円也 森 上田 義隆殿
老万円也 亡母イキ盛
五千円也 ダンスパータイ益金
老万円也 引本青年団
老万円也 匿名

社協一般寄附金

老万円也 新村 糸永 憲祐殿
老万円也 旭ヶ丘 大家 信也殿
老万円也 矢護川 吉良 英昭殿
五千円也 杉下 田代 国広殿
五千円也 岩坂 山本 武敏殿

善意銀行

預託

現金口座
(歳末助け合い)
九千円也 生長の家高校生連盟
老万円也 合志貞夫、永田祐一、菅野正司、森一己、松坂千鶴殿
五千円也 大津農高四十二年度卒業生(旧三年五組一四)

預託

現金口座
(歳末助け合い)
九千円也 生長の家高校生連盟
老万円也 合志貞夫、永田祐一、菅野正司、森一己、松坂千鶴殿
五千円也 大津農高四十二年度卒業生(旧三年五組一四)

預託

現金口座
(歳末助け合い)
九千円也 生長の家高校生連盟
老万円也 合志貞夫、永田祐一、菅野正司、森一己、松坂千鶴殿
五千円也 大津農高四十二年度卒業生(旧三年五組一四)

預託

現金口座
(歳末助け合い)
九千円也 生長の家高校生連盟
老万円也 合志貞夫、永田祐一、菅野正司、森一己、松坂千鶴殿
五千円也 大津農高四十二年度卒業生(旧三年五組一四)

預託

現金口座
(歳末助け合い)
九千円也 生長の家高校生連盟
老万円也 合志貞夫、永田祐一、菅野正司、森一己、松坂千鶴殿
五千円也 大津農高四十二年度卒業生(旧三年五組一四)

老人ホーム慰問

銀治村婦人会 タオル四九枚万十百個
室横田商店様 ケーキ六〇箱
旭ヶ丘団地 山本セツ、上村すみ子、浅井チエ子平川とし子様みかん一八K
菊池郡社会福祉協議会長様二〇〇〇円
大津小学校六年四組一同様一三八六円
引水青年団様五〇〇円
専売公社大津出張所長様 煙草四八〇
〇本校五本

引水坂本松子様 雑駄多数
室大塚猛様 餅一〇〇K
室岩本国保様 餅八、五〇〇円
東京坂本義久様 一、二〇〇円
真木坂本正様 饅餅五、二四K
大津栄田義美様 雑駄多数
大津地区婦人会様 餅六五K
松久岡大山鎮国様 ヒロス二、八K
大津町親友会様ウサギ五羽ハト一〇羽
室地区農協婦人部様 みかん一六K
菓子三五袋
西鶴島田フサ子、島田サヨ子様 菓子一、五K
南九州カコーラポトリンダ様 フア
ナオレンジョ三二二歳
瀬田小学校卒業同窓会一同様 一〇〇円

老人憩の家休日

二月 休日 毎週月曜日
休湯日 二月二日、四日迄
三月 休日 二月一日
休湯日 一ヶ月間
アルコール工場の設備替えのため
心配ごと相談日
毎週火曜日 老人憩の家

修学資金のご利用

低所得世帯で高校進学が困難な世帯には、世帯更生資金による貸付の方法があります。年間所得が概ね三万円以下の方です。

民生委員にご相談の上くわしいことは町社協(電話二七九番)にご相談下さい。

一 貸付金の種類と金額
①修学費 月額千五百円(卒業まで毎月)
②就学支度金 老万五千円以内
(高校入学の際但し自宅通学は老万円以内)

二 申込期間 三月十五日まで
三 申込方法 所定の申請用紙(社協事務所)に中学在学証明書添えて社協へ申込みのこと
四 償還期限 卒業後六ヶ月毎返す
五年以内に償還無利子

オギヤ一献金

矢護川 永田 照殿
大津 歌岡 允殿
灰塚 宮崎 文夫殿
大林 衛藤 節男殿
吹田 大田黒忠敏殿

誘致工場 石井産業

四月に操業開始

従業員募集中

町が誘致しました石井産業杉水工場は愈々四月中旬より操業を開始します。たゞいま杉水工場に働く従業員を募集中です。就職希望者の方は夜場経済課に申込ま下さい。

労働条件 就業時間 午前八時～五時
休日 毎週日曜日

職 種 縫ミシン作業、仕上作業
アイロン作業

採用条件 女子のみ 年令四〇才未満
尚詳細については経済課に質問合せ下さい。

農業構造改善事業

桑園造成に着工

農業構造改善事業の初年度事業として桑園造成事業が十二月二十八日現地に於て関係者多数出席の上盛大に施行されました
実施地区は御願所 一〇、五九
下 中 一八、六二
原 場 七、九一

計三七、一二畝で三月二十日を竣工目標に現在ブルドーザー敷台により造成がなされています。

阿蘇青年の家で研修会

本田会長以下四十七名は二月二十八、九日の両日阿蘇青年の家で「家庭教育」「子ども会などについて」の講習や指導を行う研修会を行った。

夜は青年達と一緒にキャンドルの集いにも参加し久しぶりの意心にかえり有意義な研修を終えた。

消防団出初式

昭和四十四年大津町消防団出初式が一月七日大津小学校々庭において開催されました。晴れの消防出初式においての次のおり団体表彰が行なわれ色々な賞状記念品が贈られました。ここに町民の皆様と共にお願い申し上げます。

動統十五年以上退職消防団員表彰

中栗 仲義 門岡 力 高本 正
緒方 一行 中村 勝徳 日置 奥
錦野 晋哉 川地 清治 上田 隆生
瀬川 伝次 合志 稔 小西日出生
小西 繁雄 西村 誠吾 永田 開運
岡村毛佐光 西本 松男 林田 昭輔
小西 国隆 尾藤 利秋 上田 虎清
徳永 国稔 今村 義輝 原野 正春
江藤 智博 上村 幹雄 原野 寿雄
渡辺 信喜 上田 武俊 原野 英範
住本 大喜 林 則雄 豊岡 直行
坂本 睦男 石野 勝吉 源川 雅高
大塚 巖 石原 義信 後藤 敏春
石原 大助 中野 勝 魚野 紀昭
山本 幸人 矢野 鉄也 村山 栄
西岡 栄一 上田 格 今村 明雄
田呂丸文雄 豊田 昭明 吉良 熊夫
二田口惟一 田代 熊之 田代 一成
杉水 清 家入 広守 津田 邦洋
田代 恵一 本田 隆明

功績章(動統二十年)県消防協会長表彰

本田 国義 府内 正信 大塚 邦善
橋本 哲行 岩下 勲 村山 文雄
吉良 哲克

動績章(動統十五年)県消防協会長表彰

中野 義一 内田 繁信 錦野 正吾
小西 隆山 本田 大助 坂梨 敏正
小西 勝義 阪田 猛 佐藤 一誠
松平美千男 佐藤 隆 上村 義光
大田黒敏道 坂田 昭則 大川 三郎
藤水 茂晴 王永 潔 元田 孝文

西本 隆則 藤本 房男 大田黒繁男
大窪 孝治 西田 節也 徳水 敏一
奥村 敏弘 今村 武士 緒方 芳朗
山根 和敏 本田 堅次 津橋 政光
清水 和明 吉本 国弘 荒木 茂
三池 慶幸 古庄 幸男 宮崎 久雄
岩下 秀幸 岩下 蔵敏 岩下 郁男
東 誠一 古庄 信男 今村 光雄
大村真子男 大村 信吾 永田 光雄
村山 勉 今村 誠信 今村 久雄
田代 敬吾 本田 進 合志 光義

優良功労者表彰

優良功労者表彰 県消防協会菊池郡支部長
第五分団 分団長 大塚邦善以下七名
優良功労者表彰 県消防協会支部長
内田 繁信 佐藤 堅一 坂田 昭則
児玉 稔 西 靖哉 島田 俊一
坂本 惟俊 清水 久明 岩下 一吉
宮崎 文夫 宇野 信也 古庄 繁光
村山 正之 上田 駿 三池 秀
中野 誉長 長彦
自治功労者表彰
本田 国義 府内 正信 大塚 邦善
橋本 哲行 岩下 勲 村山 文雄
吉良 静克 感謝状
感謝状
前消防団長 大村 直
副団長 東 義輝 同 大田黒均
優良功労者表彰
大津町消防団長
中野 義一 佐藤 秋雄 宮前 公俊
瀬川 雅司 小西 隆 松平美千男
大川 三郎 齊藤 洋征 山本 雅博
中尾 昭一 西本 敏彦 大塚 啓司
藤本 宏一 橋口 次雄 帆保 新次
佐藤 幸幸 池田 誠也 坂本 正次
渡辺 隆雄 月尾 誠也 三池 慶幸
岩下 春雄 米村 元己 大田 精雄
矢野 丈一 古庄 豊実 今村 敦人
大村 隆昭 坂梨 猿吉 村山 秀夫
藤原 政次 佐藤 充 田代 信矢
野口 清重 上月 英俊 豊岡 虎喜
木村 守

出初式点検優良分団表彰 大津消防団長
第一位 第二分団 第二位第七分団
第三位 第五分団



献血をお願いします
三月五、六日の両日
大津小に献血車

血による外はありません皆様に
尊い血液を献血していただき数
多くの生命を救い、万一の場合
に備えて患者も医者も安心して
輸血が受られる明るい社会をつくり
たいものです。

事業所学校団体町内会等こそつてご協
力をお願いします。
尚献血の申し込みは二月中旬頃粗長さ
んを通じて別途御通知します。

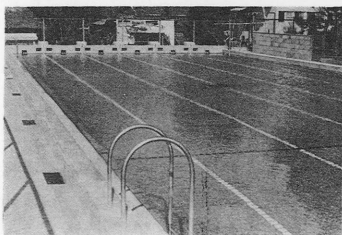
町民必読の郷土史

大津史 大津の起りより現在までを
豊富に写真を挿入してわかりやすくま
とめたもの教材にも最適 ㊶三〇〇
大津町の自然と人文 地理学的にみ
た大津の自然と人文、大津史の姉妹篇
㊶二〇〇
すがのや日記抄 日吉神社に伝わる
歴代社記及日記特に維新前後が詳しい
㊶七三〇



近年は交通事故や医学の発達等によ
つて大きな手術が行われておりますが
手術には必ず輸血が必要です。
医学薬学の進歩した今日でも輸血用の
血液だけは人間の血液でなければなり
ません。この輸血用の血液は皆様の献

矢護川小プール完成



矢護川区民待望のプールが完成しま
した。長さ二十五メートル横九、六メ
ートル五コース、工費三三六万円

大津町郷土民謡歌詞募集

趣旨

私達の郷土大津町を象徴する郷土の
民謡を募集します。
これまで「大津音頭」つゝじ小唄を
持つておりますが今度は新しい時代
に即応した感覚を以つて老人も小供
も男女誰でもどこでも気軽に歌える
歌詞をお願いします。

歌詞

- (1) 自作未発表のもの
 - (2) 観光と歴史の肥後大津を象徴し明
るく軽快で誰でも容易に歌えるも
のであること。
 - (3) 一節四行以内で三節以上
 - (4) 行進曲風にして勇ましく大津町の
発展に寄與するもの
- 応募用紙
B四版四〇〇字詰原稿用紙縦書
同じ型の原稿用紙に住所氏名年令職

業を明記すること。

封筒に「応募歌詞」を封書すること

応募先

大津町役場経済課郷土民謡係

締切日

昭和四十四年二月二十日

発表

熊日及び大津広報で発表

賞金

入選一点 一〇,〇〇〇円

佳作一点 三,〇〇〇円

審査

町長が委嘱した審査員による

その他 募応募作品はお返ししません

著作権は大津町役場に帰属します

有名人作品は補作することがあります

定です。一流舞踊家の振付にて踊り

にもなります